

第4回人吉球磨定住自立圏共生ビジョン懇談会

平成27年4月17日(金) 午後2時から
人吉市役所 本庁舎 三階 第一会議室

会議次第

1 開会

2 次長挨拶

3 会長挨拶

4 議事

(1) 人吉球磨定住自立圏共生ビジョン(案)について

(2) 委員からいただいた御意見について 【 資料① 】

(3) 人吉球磨定住自立圏共生ビジョン(案)に係る意見募集(パブリックコメント)について 【 資料② 】

5 その他

第5回ビジョン懇談会 平成27年5月 8日(金) ※本日文書を御用意しています。

6 閉会

第4回人吉球磨定住自立圏 共生ビジョン懇談会出席者名簿

人吉球磨定住自立圏 共生ビジョン懇談会委員(敬称略)

No	団体名(所属)	役職名	氏名(フリガナ)	No	団体名(所属)	役職名	氏名(フリガナ)
会長	熊本県立大学 総合管理学部	教授	井田 貴志 イダ タカノリ	10	湯前町区長会	会長	柳瀬 鐵男 ヤナセ テツオ
副会長	多良木町文化協会	会長	竹原 篤子 タケハラ アツコ	11	湯前町文化財保護委員会	委員長	溝下 昌美 ミゾノダ マサミ
3	人吉市医師会	会長	外山 博之 トヤマ ヒロユキ	12	相良村商工会	青年部長	古川 秀次 フルカワ シュウジ
4	人吉温泉観光協会	副代表理事	鳥越 英夫 トリゴエ ヒデオ	13	相良村有害鳥獣捕獲隊	隊長	堀川 泰注 ホリカワ ヤスツグ
5	球磨焼酎酒造組合	理事	下田 文仁 シメダ フミト	14	NPO法人かちやリンク やまえ	専務理事	本山 民子 モトヤマ タミコ
6	人吉商工会議所	事務局長	黒肥地昭夫 クロヒジ アキオ	15	山江村民生委員 児童委員協議会	会長	中村 征生 ナカムラ ユウオ
7	くま川鉄道株式会社	取締役総務部長	深水 雄二 フカミズ ユウジ	16	球磨村教育委員	委員長	中井 久美 ナカイ クミ
8	人吉球磨地域女性農業委員ネット ワーク	会長	石松まゆ子 イシマツ マユコ	17	あさぎり町深田校区婦人会	会長	白柿 悦子 シラハキ エツコ
9	公立多良木病院企業団	課長補佐	北村 隆信 キタムラ タカノブ	18	あさぎり町農業女性の会	会員	宮原 久子 ミヤハラ ヒサコ

人吉球磨定住自立圏 推進協議会 幹事会(オブザーバー)(敬称略)

団体名(所属)	役職	氏名(フリガナ)	団体名(所属)	役職	氏名(フリガナ)
錦町 企画観光課	課長	藤芳 純 フジヨシ ジュン	山江村 総務課	課長	豊永 友満 トヨナガ トモミツ
多良木町 企画観光課	課長	岡本 雅博 オカモト マサヒロ	球磨村 企画振興課	係長 (課長代理)	佐々木 亨 ササキ アキラ
湯前町 総務課	主事 (課長代理)	右田 千晴 ミギタ チハル	あさぎり町 企画財政課	参事 (課長代理)	高田 将一 タカタ ショウイチ
水上村 総務課	課長補佐 (課長代理)	川俣 宣雄 カワマタ ノリオ	熊本県 県南広域本部 球磨地域振興局 総務振興課	審議員兼課長	中川 博文 ナカガワ ヒロフミ
相良村 総務課	参事 (課長代理)	福山 慎司 フクヤマ シンジ	" "	課長補佐	押山 勝彦 オシヤマ カツヒコ
五木村 総務課	課長	黒木 一秀 クロキ カズヒデ	" "	参事	立花 ちどり タチバナ チドリ

人吉球磨定住自立圏 推進協議会 事務局

団体名(所属)	役職	氏名(フリガナ)
人吉市 総務部	次長	告吉 眞二郎 ツゲヨシ シンジロウ
" " 企画財政課 行政経営係	課長補佐	森下 弘章 モリシタ ヒロアキ
" " " "	主幹	林田 考功 ハヤシダ タカノリ
" " " "	主事	植竹 明日香 ウエタケ アスカ

【事務局の所在地及び連絡先】

〒868-8601
人吉市麓町16番地 人吉市
総務部 企画財政課 行政経営係
TEL: 0966-22-2111(内線2122)
FAX: 0966-24-7869
Email: kikakuzaisei@city.hitoyoshi.lg.jp

共生ビジョン懇談会委員より意見・質問票で提出のあったもの

資料①

番号	該当箇所	意見の概要	事務局及び部会の考え方
1	全般	委員には、医者、病院従事者、球磨焼酎酒造組合や女性農業委員ネットワーク代表などいろいろおられるので、それらの方々に講師になっていただき、各分野の現状を聞いたり、見学するなど必要なのではないか？ 専門外の分野については解らないことが多く、意見等も言えない。	大変貴重な御意見と受け止めております。確かに、専門外の分野についての現状把握や知識がないと、踏み込んだ活発な議論が見込めないこともあるかと考えられますので、今後のビジョン懇談会の運営方法において、検討させていただきたいと思っております。
2	全般	わくわくするような事業はない。 スケールメリットを活かした事業や各自治体が持つ資産の共有によるコスト削減事業があるのではないか？ 真の共生ビジョン策定に向けて活用アイデアを出せるように自治体職員間の協議の場を定期的に設けて欲しい。 協議の場として共生ビジョンデザイン会議の創設を事業に入れてはどうかと思う。	頂いた御意見を重く受け止めております。 共生ビジョンは、形成協定に基づき推進する具体的な取組等を記載するもので、毎年所要の変更を行います。 頂戴しました御意見につきましては、新たに取組む事業の掘り起こしや選択を行い、検討する際の参考とさせていただきたいと思っております。共生ビジョンデザイン会議につきましては、今後、実施方法などについて検討課題といたします。
3	新規	私は「食と健康」をキーワードに、野菜中心のヘルシーランチを提供している。和食がユネスコ無形文化遺産に登録されたが、昔ながらの伝統食や旬の食材、四方一里の物を食べる(身土不二)がいかに体に良いか、学びながら再確認している。 本物の日本食・伝統食を若い世代に繋げる事や、健康づくり応援店を増やし、高齢・独居者が気軽に食事を楽しめるなど、「病気を予防する『健康食』」を圏域全体で取組み、スタートして欲しい。人間にとって「食」は重要であり、楽しみでもあるから。	頂いた御意見につきましては、「住民の健康増進」「農業の振興」及び「観光の振興」などを含めた「食」に着目されたものと捉え、このように他の分野に亘る取組こそ定住自立圏構想にふさわしいものと考えております。 即座に取組を実施することは難しいかもしれませんが、今後、他圏域等の情報収集に努め、各分野との検討を進めていきたいと思っております。
4	新規	ワクワクするような夢のある取組が一つ欲しい。	本圏域には多くの地域資源が埋もれており、定住自立圏の取組として様々な素材があると考えております。 今後も、それらを掘り起こし、特性や可能性を十分に活かすことなど、可能性を進展させていく検討を進めてまいります。
5	新規	産業振興の中に、農業振興の部分についての取組事項が掲げているが、特に球磨人吉は林業・木材産業が盛んで、主要産業である。ただ、林業従事者は年々高齢化が進み、人材の確保も事業体が苦慮している。農林業の活性化を含めた共生ビジョンの策定が定住促進に必要と思うので、今後、林業についての取組が追加されることを期待する。	貴重な御意見ありがとうございます。本圏域では第1次産業は大変重要な産業と思っております。しかし、近年の木材価格の低迷により、林業への新規参入者が減少、林業従事者の高齢化が進み、今後の林業労働力が心配されます。 近年、国においても木質バイオマスの活用等新たな分野への木材の利用方法を推進しておりますので、今後は、新たな取組に追加するのを含め、建築用の木材生産だけではなく、多面的な利用方法の模索、また、山林の公益的機能(水源涵養、土砂流失防備、Co2削減等)の広報活動等の推進について検討していきたいと思っております。
6	新規 (農業の振興)	農業を学ぶ場が欲しい。また、充分使える食材(市場に出せないなどの規格外品)を、捨てずに利用して欲しい。	農業振興の協議の場である「くま農業活性化協議会」において、各部門ごとに取組内容との整合性も図りながら協議をさせていただきたいと思っております。
7	新規 (農業の振興)	農業に元気になって欲しい。今後は「空き家」や「休耕田」を活かすことがターニングポイントになると思う。また、ブロッコリーはすぐに傷み、冷凍するしか保存方法が無いのではないかと思う。	田園回帰(U、I、Jターン)の流れが進んでおり、御質問の内容では、農業以外の分野(企画・観光等)も含めた協議が必要と思われるので、今後検討が必要と考えます。 また、ブロッコリーを含む野菜等については、関係機関も含めた生産振興と各品目にあつた集出荷体制の確立に向けた検討が必要であると考えます。
8	新規 (観光の振興)	「ひなまつり事業」により、県内外からのお客様が私どものお店にも来店され、イベントの効果だと感謝している。 広域行政組合開催の「相良三十三観音巡り」については、歴史と自然というドメインに加え運動もあり、地元民でも知らない事を発見できることで大変楽しみにしているし続けて欲しい。また、上・中・下球磨を巡るという試みも、飽きがなくリピーターに繋がると思う。	今後、広域行政組合で人吉・球磨の広域観光の内容検討、取組を継続して行きたいと思っております。
9	新規 (観光の振興)	各町村で行っているイベント(祭り・花火等々)を、参加者が重複しないように、心待ちにできるように、交代で開催し、節約のためにも行事の簡素化をお願いしたい。	各市町村で開催されるイベントについては、それぞれの開催目的や歴史背景などが考えられます。 互いに情報を共有し、日程等が重ならないよう、多くの方が各市町村のイベントに参加出来るよう取り組んでまいります。
10	新規 (観光の振興)	女性をターゲットにした企画という点では、相良の歴史文化だけでは物足りなく、複数の楽しみが無いと行く気にならない。 ①女性は花と温泉が好きなので相良700年のコラボとして 2月:人吉梅園+ひな祭り(梅御膳弁当と球磨焼酎付き) 3月:水上の桜+ひな祭り(桜御膳弁当と球磨焼酎付き) 4月:湯前のつつじ大水車+田園シンフォニー+まんが館(つつじ御膳弁当と球磨焼酎付き) 11月:五木の紅葉(五木そば御膳弁当(ここは紅葉御膳ではないのか?)と球磨焼酎付き) などの企画はどうか?あと、歴史施設に花の植栽もしては? ②若者向けにはアウトドアとコラボしては? ③高齢者向けには日帰りでの花の観賞 人吉球磨は年間通して楽しいことが多いので意見した。	頂戴した御意見を参考にさせていただき、今後、広域的観光を検討し、取り組んで行きたいと思っております。
11	新規 (鳥獣害対策)	有害鳥獣駆除について、林業はシカの被害に相当苦慮しており、植林したスギ、ヒノキの新芽を食べられ、枯れるなどの被害がある。対策として国、県の補助で防護ネットを張っているが、山林がネットで張り巡らされている様である。 シカ肉はジビエ料理で注目をされているが、人吉球磨にジビエ専門料理店が無いのが不思議。都会からの観光客は、この地域でのジビエ料理にも興味があると思う。また、肉以外にもシカの角を使った装飾品(例、フィッシュナイフ等の柄など)やシカの皮を使ったバッグや財布・ジャンパー、コートなどの特産品開発を通じた産業の創出はどうか?人吉には人吉シャツなどのブランド品を作る職人さんも多くいるので。	貴重な御意見ありがとうございます。各市町村の担当課でも、捕獲された鳥獣をどのような形で有効活用していくのかが大きな課題だと思っております。 御意見のジビエ料理の件ですが、専門店はありませんが、人吉・球磨でもメニューの中にイノシシ、シカ料理を出す飲食店が増えてきています。しかしながら、地元では飲食店でジビエ料理を食べる人が少ないため、観光客だけでは専門店は難しい状況です。また、皮についてですが、九州には皮をなめす所がなく、京都へなめし作業を依頼しなければならず、量の確保、経費の問題等でなかなか推進できない状況です。 今後は、需要供給、経費等を確認しながら検討していきたいと思っております。

番号	該当箇所	意見の概要	事務局及び部会の考え方
12	救急医療・健診・発達相談	4ヶ町村立の自治体病院として、当事業・地域に貢献したいと考えている。市町村における事務効率化と経費削減にお役に立てることがあれば協力したい。当院の看護師等医療スタッフも活用いただければ幸いである。	ありがたい御意見をいただき、感謝申し上げます。今後とも御協力を賜りますようよろしくお願いいたします。
13	環境保全	レジ袋削減の取組は、コンビニやドラッグストア、スーパーなど、小売業で最もレジ袋を使う業界が参加していないので、協議会事業の推進を行ってもゴミ減量の効果は得られない。果たしてこれが生活機能の強化に該当しているのか疑問。10市町村のスケールメリットを生かしたゴミ減量対策に取り組むべきだ。 環境関連の担当者でしっかりと協議をして挙げた事業なのか疑問。それ以外にも優先順位を上げてやる事があるのではないか？	大変貴重な御意見であり、各自治体においても、ごみの減量化は、大きな問題として認識しております。 レジ袋有料化への協力要請は今までも努めてきましたが、事業所側においては、地域全体で取り組まないと実施店舗での客離れに繋がるおそれを憂慮され、踏み出せないというのが実情であり、熊本県での広域的な取組や、国による法令等の整備や本社等への働きかけが必要であると痛感しているところです。 圏域全体でも、環境問題に対する取組として、清流・山林・水源地等の環境保全について協議を重ねて来ましたが、予算の規模、人員や時間などの不足で余力がないなど、自治体間での不一致がありました。 このように、自治体の足並みをそろえるのに難しい面が存在しましたが、既存事業ではありますが、共通認識があった手近なところから着手しようと考え、レジ袋削減事業に絞られました。 今後は、検討と協議をさらに重ね、圏域全体においてスケールメリットのある効果的な取組を図って行きたいと考えております。
14	外部の専門的人材等の活用の推進	外部から専門的な知識を持った人材の活用を補助金を使ってできるチャンス。全市町村取り組んで欲しい。	確かに全市町村で取り組める施策であり、地域おこし協力隊については、すでに五木村等で実績があるところです。今回のビジョンに反映させるか否か、部会で再検討させていただきます。

意見・質問票で提出のあったものの内、懇談会内で発言があったもの

番号	該当箇所	意見の概要	事務局及び部会の考え方
15	全般	女性は思い切って発言できない人もいると思う。委員はそれぞれの専門分野から選出されているので、3部会くらいに分けて、それぞれの考え・意見を取りまとめ、最後にそれを発表してはどうか？自分の意見が言い易く、良い方向に行けるのでは？	第2回懇談会時に同様の御意見あり。会長より回答済 「分科会方式は、専門分野についての議論は煮詰まるが、全体を見ない可能性がある。逆に専門分野以外の事について、多岐に亘った見識を持つ皆様から、文章の意味ややり方についての疑問点・意見を出していただきたい。また、分科会方式ではさらに委員数が必要となる。そういった諸々の事を考えると、この様な会の運営にならざるを得ない。」
16	新規(文化財の保護及び活用)	文化、芸能分野がない。以前、カルチャーパレスで行われていた「くまもとよし民謡と踊りの祭典」を復活して欲しい。(出演団体出演料あり。太鼓踊りや民謡の競演) また、「相良歴史回廊シンポジウム」を開催して欲しい。年毎のテーマで、夏休み等に行い、建築、仏像や相良氏についての見学会とシンポジウムで、専門家からの新しい知見が得られるのでは？文化財を地域振興に活かす。でも良い。	第2回懇談会時に部会より回答済 「貴重な御意見として、今後、検討させていただきます。」
17	農業の振興	平成26年度球磨焼酎等ブランド確立推進事業の仕組み(助成)について、分かり易く説明して欲しい。	第3回懇談会時に資料により説明済
18	観光の振興	観光の振興は、協定の内容の中で、「関連する市町村・広域行政組合・観光協会等各団体が一体となって」とある。市長挨拶にもあったが、広域行政組合の中に広域観光課を設置したとのこと。その広域観光課の具体的な取組み内容を教えて欲しい。また、それぞれの役割分担について教えて欲しい。	第3回懇談会時に部会より回答済 「具体的な取組みは、スマートフォン用観光ガイドアプリ、商品の開発、球磨川散策図の製作・販売、相良三十三観音では案内図作成と健康ウォーク、全国民謡選手権大会の開催。補助金では田園シンフォニー購入、スマートインターチェンジ整備、旬夏秋冬キャンペーン実行委員会への支援。役割分担は、各市町村はそれぞれ観光振興に取り組んでいる。広域行政組合は、原則、圏域全体に寄与する共通案件について取り組む。なお、複数の市町村が取り組むものに対しても組合で連携して行く。」
19	鳥獣害対策	取組内容に、「捕獲鳥獣の処理方法や活用策の検討する」とあるが、処理場・加工場についての検討か？野生動物は品質が一定ではなく、年間通じての安定供給もできない可能性があると考え、これらを既に五木村で行われていると聞き及んでいるので、その経営状況を教えて欲しい。	第3回懇談会時に部会より回答済み 「五木の処理場に出てくるのはほぼ鹿肉。年間約1200頭獲れるが、その内処理場に入ってくるのは460頭位。その差は、猟師が食べたり処理場までの距離が長く、時間を要して製品にならないため処分。この処理場は五木村単独で設置し、野生鳥獣活用部会が運営。平成25年度の売上は約250万円だが、100万円位の赤字。平成26年度はプラスマイナス0円。処理した肉を道の駅で加工しているが、鹿の手作りソーセージ・手作りソフトジャーキー・味噌煮缶詰・ロース肉・もも肉・ミンチ肉として販売。25年度売上げが約400万円ほどで経費の方は把握していない。経営状況が良くない事や、処理場までの搬入時間がネックで、各市町村の施設建設の課題となっている。」
20	新規(鳥獣害対策)	例えば、鹿肉を大和煮にするとコンビーフみたいになるので販売したり、工場を作ればどうか？	
21	外部の専門的人材等の活用の推進	「若手企業人地域交流プログラム」が気になっている。圏域外の若い人達の目を借りて、地元学を始めて欲しい。楽しみにしている。	第3回懇談会時に同様の御意見あり。部会より回答済 「一人350万円の二人分で700万円。兵庫県豊岡市では異業種から二人。担当業務は、語学力を活かした情報発信とICTの活用。本圏域も外国人観光客のインバウンド交流人口の拡大と情報発信が必要と考えているし、人吉ではG空間情報とICTの活用による新しい産業の誘致とか災害対策に力を入れているので、そういった方を希望している。」

人吉球磨定住自立圏共生ビジョン(案)に関するパブリックコメント(意見募集)一覧

資料②

分野	意見の概要	考え方	ビジョン(案)への反映状況
保健・医療	<p>少子高齢化が進む中で、定住自立圏を目指し10市町村による基本構想が出来た事は、大変喜ばしい。</p> <p>私は関西で41年間暮らしており、平成28年4月には田舎にUターンして生活の拠点を構える予定だが、このような構想があれば安心して帰省できる。</p> <p>「中期5カ年計画」の中では、早急な医療体制の充実が重点施策ではないかと思う。医療の充実により地域の特性を活かして、Uターン及びIターンによる定住人口の増加へと実現していくのではないか。</p> <p>基本構想により施策を展開し、本計画を達成される事を願っている。</p>	<p>医療体制の充実、定住に必要な大きな要因のひとつと認識しております。</p> <p>定住自立圏構想においても重視すべき項目ですので、圏域住民への医療サービスの充実に向けて、休日在宅当番医制運営事業、病院群輪番制病院運営事業、産科・小児科医療体制維持検討・支援事業、発達小児科医の圏域医療機関での確保などを推進し、今後、更なる充実に向け、連携して取り組んでいきたいと考えております。</p>	なし